

# タクシーポスター

平成27年9月10日掲載

県政報告

の  
ひで  
「実績で勝負」④

## 危険ドラッグなくし隊が出動

公明党 鈴木ひでし



2003年神奈川県議会議員初当選。

公明党神奈川県本部副代表

第109代神奈川県議会副議長

HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>

FB <https://www.facebook.com/turumi.hideshi.suzuki>

メール [ml\\_suzuki-ctl@labo2.sere.jp](mailto:ml_suzuki-ctl@labo2.sere.jp)

死亡者4人、健康被害191人、取扱い人数295人、交通事故件数24件——これは、県内で昨年1年間に発生した危険ドラッグ乱用者による状況です。

その乱用を原因とする事件や事故が全国で相次ぐ危険ドラッグ。降つてわいたような被害に遭われた方々

の無念は、筆舌に尽くしがたく、ニュースを見るたびに憤りを感じます。そんな中で神奈川県では、「神奈川県薬物濫用防止条例」が4月1日より施行されました。この条例は、

国が未指定の薬物を知事が指定し、販売や所持を禁止するほか、販売店舗への警けでなく、県民の皆さん一人ひとりが、「危険ドラッグを許さない」という思いを持ち、県内に広めていくことが重要になります。

そこで私は、条例案提出の際、黒岩知事に対し、よ

めには、自治会等への呼びかけが大事な視点であると訴えました。提案を受けた知事は、「危険ドラッグなくし隊」を組織し対応すると回答。隊が活動する県内3カ所のモデル地区の一つに鶴見区が選ばれ、7月から活動が始まりました。

### 地域から撲滅へ

こうした素晴らしい条例ですが、危険ドラッグ撲滅となる保護司や薬剤師の方々と啓発チラシを配布しました。これにより、これまでの街頭啓発に加え、自治会等と連携しながら、より地域に根付いた活動を行つ

て頂けるものと思います。危険ドラッグ撲滅を願う一

人として、今後もできる限り趣旨を理解してもらうたり協力していきます。